

---

## 日本経済新聞社の英語新媒体「Nikkei Asian Review」の 提供基盤システムを構築

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役会長兼 CEO:中井戸 信英、以下SCSK)は、株式会社日本経済新聞社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:喜多 恒雄、以下日本経済新聞社)が発刊した英語新媒体「Nikkei Asian Review(ニッケイ エイジアン レビュー)」向けに、オープンソースのコンテンツ管理システム(CMS)「eZ Publish(イージーパブリッシュ)」とSCSKの「USiZE(ユーサイズ) パブリッククラウドモデル(AWS)」を活用したウェブコンテンツ提供基盤システムを構築しました。これにより、「Nikkei Asian Review」がパソコン、スマートフォン、タブレット端末で購読可能となりました。

「USiZE パブリッククラウドモデル(AWS)」は、世界で豊富な実績を持ち、多様なサービスメニューを展開するアマゾンウェブ サービス(以下、AWS)を、より便利にご利用頂くためのサービスです。AWSを活用したシステム構築のご相談から、導入、運用監視、請求書対応まで、一括でサポートします。

### 1. 背景

日本経済新聞社では、アジアのメディアならではの視点で成長著しいアジア経済を英語で伝えることを目的とし、パソコン、スマートフォン、タブレット、印刷媒体などさまざまなデバイスでコンテンツを提供する「Nikkei Asian Review」を創刊しました。

SCSKは、さまざまなウェブサイトのコンサルティング、構築、運用保守のフルラインサービスを2006年から提供しています。これまでのSCSKの実績やシステムインテグレーターとしての総合力を日本経済新聞社に評価いただき、このたびSCSKが「Nikkei Asian Review」のウェブコンテンツ提供基盤システムを構築するに至りました。

### 2. ウェブコンテンツ提供基盤システムの特長

「Nikkei Asian Review」のウェブコンテンツ提供基盤システム構築では、SCSKはこれまでの実績やノウハウに基づく適切なソリューションで、本プロジェクトの成功に貢献しました。

#### (1) マルチデバイスおよび紙媒体への対応

ウェブサイトのマルチデバイス対応だけでなく、DTP<sup>※</sup>ツールとの連携も可能なオープンソース CMS「eZ Publish」を採用し、パソコン、スマートフォン、タブレット、印刷した雑誌でも閲覧できる複合媒体への対応が可能なシステム基盤を開発しました。

また、「eZ Publish」のオープンソースである特性を最大限に活用し、有料会員制のウェブサイトに必要な、会員管理や契約管理機能を「eZ Publish」上にアドオン開発することで、パッケージ標準機能とカスタマイズ機能を統合したユーザインタフェースをご提供しています。

(2) グローバル展開やピーク時のページビュー増加に対する拡張性と柔軟性

「Nikkei Asian Review」は、グローバルで活躍するビジネスパーソンを対象にしているため、地域差を感じさせない均質なサービス、ニュースサイトとしての特性から突発的なページビュー増加による負荷や将来的なサービス拡大に対応できる拡張性も必要とされていました。

そこで、IaaSとして「USIZE パブリッククラウドモデル(AWS)」を採用することにより、リソースの拡張・縮小を実現しました。また、AWSの提供するコンテンツ配信ネットワーク「Amazon CloudFront」を採用し、世界の各地域からのアクセスに対して均質なレスポンス提供を可能にしました。

(3) ITコンサルティングのご提供により、短期間でシステムの最適化を実現

リリースまで短納期かつ、システム企画工程からのスタートが必要なプロジェクトでした。

SCSKは企画フェーズからITコンサルティングとして参画し、お客様の要求分析と並行しシステムのグランドデザインを策定しました。CMSやAWSを中心とし、ウェブ開発における最適なソリューション提案とFit & Gapを行いながら、システム化計画を立案することで、設計工程以降のプレを少なくした開発を行いました。

※ DTP(Desktop publishing)・・・出版物の原稿作成や編集、デザイン、レイアウトなどの作業をコンピュータで行い、データを印刷所に持ち込んで出版すること。

### 3. 「Nikkei Asian Review」概要

「Nikkei Asian Review」は、成長著しいアジア経済の実像を、アジアに存在する日経ならではの視点で発信する新メディアとして、2013年11月21日に創刊されました。アジアに密着した取材体制を強化し、今まで以上に地域に根差し、深掘りした記事が充実しています。また、パソコン、スマートフォン、タブレット、印刷した雑誌でも閲覧できる複合媒体として提供されています。

<http://asia.nikkei.com/>



## 本件に関するお問い合わせ先

### 【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社  
製造・サービスシステム事業本部  
サービスシステム部 渋谷、横山、上野  
TEL:03-3479-9025  
E-mail: websas.sp@scsk.jp

### 【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社  
広報部 栗岡  
TEL:03-5166-1150

- ※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。
- ※ アマゾン ウェブ サービス、AWS、Amazon CloudFrontおよびAmazon Web Servicesロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

## (ご参考)SCSKのウェブサイト構築ソリューション概要

SCSKは 2006 年よりウェブサイトのコンサルティングから構築・保守運用までのフルラインサービスを「WEBSAS(ウェブサス)」として提供し、専門部隊を保有しています。

- ・ウェブサイトに関わる企画・構築・運用のフルラインサービスの提供
- ・「eZ Publish」を含めた CMS における多数の開発実績
- ・豊富で柔軟なウェブ専門の技術者体制
- ・確立された手法に基づくプロジェクト管理



ソリューションの詳細、導入事例は以下サイトにて公開しています。

<http://websas.jp/>